

# 進路指導部だより

令和元(2019)年

8月23日(金)

第5号

三戸高校進路指導部

## 今は、本当に就職に有利な時代？

青森労働局が発表した、6月の青森県内有効求人倍率は1.21倍で、1倍はキープしているものの全国45位の水準でした。そこで、求人倍率が1倍を超えている職業の種類を見てみると、**建築・土木・建設・採掘・測量**、**事務職**、**飲食物調理**、**保安**、**製造**、**輸送・機械運転**がそうでした。皆さんが希望する仕事は、この中に含まれていますか？求人倍率が1倍を超えている理由を分析してみると、**建築**関係や**保安**はオリンピックへの準備や震災復興関係で人手が足りず、求人が増加していると思われます。**輸送・機械運転**は、宅配業者を中心としたドライバー不足解消の求人がメインでしょう。**飲食物調理**は、仕事の忙しさや休みの不定期さ、修行期間の長さやアルバイト店員への指導力が求められるなど、業務内容が多岐にわたるところから敬遠されているのではないのでしょうか。**製造**は、外国人労働者が多数就職している現状を見ると、今に始まった求人の増加ではないと思います。**事務職**は、商業高校出身者などの資格取得者が、そのまま就職せずに進学し、違う職につくケースが増えてきているからではないのでしょうか。

少し、視点を変えてみます。青森県内の従業員数20人未満の小企業は、3か月連続で業績が下回っているそうです。ですから、青森財務事務所が「8期連続で景気が緩やかに持ち直している」と発表しても、10月からの「消費税増税前の駆け込み需要」を期待しようと思っても、家計の財布のひもはなかなか緩みません。世の中にお金が回っていかないと、求人を増やそうと思っても、企業側にも限界があります。だから今、**求人倍率が高くなっているのは、「景気が良くなっているから」という理由は当てはまらないようです。**だからこのような時代に、**周囲の誘いに流されて安易に就職を決めてほしくない**ので、夏季休業中に、2年生は就職希望者を、3年生は専門学校と就職を希望する生徒を対象にして、文部科学省主催の就職ガイダンス等を実施しました。

情報が錯綜している昨今、自分の人生を設計していくためには、自分が収集した知識だけではまだまだ足りません。また、収集した知識が正しいかどうか確認する必要があります。そのためには、様々な方からアドバイスをいただくことが大事です。そうすることで、**自分の目標が明確になり、そこに断固たる決意が生まれるはず**です。1・2年生は、自分の進路が決まるまで挑戦し続けていく3年生の姿をよく見ておき、来年以降、自分たちが挑戦する姿を想像して、準備を始めましょう。

(参考資料 職業安定業務取扱月報令和元年7月30日解禁分、東奥日報令和元年7月30日～8月2日)



就職ガイダンス (2年)



就職ガイダンス (3年)



求人合同説明会 (3年)

**「ドラゴン桜」の名言から力をもらい、2学期を乗り越えよう！**

**激変し続ける社会を生き抜くためには、機能的に生きていく...**

**ということだ。機能的に生きるとは、目的のために働く(勉強する)ということだ。**